

## 親知らず（智歯）の抜歯について

親知らずは抜いたほうが良い場合と、抜かないほうが良い場合があります。  
以下それぞれ紹介いたします。



### 抜いたほうが良い親知らず

親知らずが傾いて生えている・上下の親知らずが噛みあっていない場合

親知らずが横向きに生えていると、手前の歯との間に汚れが溜まりやすくなっています。奥のほうなので歯ブラシが届きにくく、汚れを除去しにくい場所です。このため、智歯周囲炎を起こして歯茎が腫れたり、虫歯になりやすくなっています。

また、横に傾いている親知らずはでてくる時に手前の歯を押し痛みが出たり、出てくる力が手前の歯にかかり続けると、前歯が動いて歯並びが乱れてしまうことがあります。

### 抜かないほうが良い親知らず

#### 1、上下の親知らずがまっすぐ生えていてしっかり噛んでいる場合

上下の親知らずがしっかり噛んでいて、虫歯や歯周炎がない場合には、特に抜く必要はありません。

#### 2、歯茎に完全に埋まっている場合

親知らずが歯茎に完全に埋まっている場合は、歯周炎や虫歯になる確率がとても低いので、矯正などで必要な場合を除き抜歯は不要です。

横向きに生えている親知らずを抜く場合は、手前の歯に引っかかって抜けないので、親知らずを分割して抜歯します。手術時間は症例によって異なりますが、30分～1時間くらいです。抜歯後は基本的に腫れますが、生理食塩水で洗う、薬をしっかり飲むことで、最小限に抑えることができます。